

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	みよし市食育推進会議		
開催日時	令和元年6月28日(金曜日) 午前10時から午前11時20分まで		
開催場所	みよし市役所 3階 研修室4・5		
出席者	(委員及び助言者) 酒井副市長(会長)、前田真美委員、小野田加代子委員、岡本清則委員、雪江恵子委員、原田晃男委員、板倉広幸委員、浅井博人委員、深谷那奈代委員、山中美代子委員、野田一弘委員、小川雄二委員、西堀すき江委員、山本香美委員、足立常男助言者、木戸美代子助言者、近藤貴子助言者、関根公恵助言者代理(事務局) 原田環境経済部長、加藤環境経済部次長、富田産業課長、原田副主幹、松田主事、野々山健康推進課長、学校教育課狩野主幹、給食センター松永主査、健康推進課押村主事、豊田加茂農林水産事務所農政課前田主査		
次回開催予定日	令和2年5月頃		
問合せ先	環境経済部 産業課 電話番号0561-32-8015		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録全文 ・ 議事録要約 	要約した理由	
審議経過	別紙会議録参照		

会 議 録

- 1 会議名 みよし市食育推進会議
- 2 日 時 令和元年6月28日(金) 午前10時～午前11時20分
- 3 場 所 みよし市役所 6階 601・602会議室
- 4 出席者 (1)委員及び助言者(18名)
酒井喜市、前田真美、小野田加代子、岡本清則、雪江恵子、原田晃男、板倉広幸、浅井博人、深谷那奈代、山中美代子、野田一弘、小川雄二、西堀すき江、山本香美、足立常男、木戸美代子、近藤貴子、関根公恵
(2)事務局(11名)
原田環境経済部長、
加藤環境経済部次長、
富田産業課長、
野々山健康推進課長
産業課：原田副主幹、松田主事
学校教育課：狩野主幹
健康推進課：押村主事
給食センター：松永主査
豊田加茂農林水産事務所農政課：前田主任主査
- 5 欠席者 委員(5名)
日比野直子、小野田貴好、林晴子、新谷千晶、竹内和子
- 6 会議公開の可否 公開 / 傍聴人数 0人
- 7 会議の経過
(1)会長あいさつ
(2)議題

【事務局】 それでは議題に入りたいと思います。議事の進行につきましては、みよし市食育推進会議条例第7条第2項の規定により、酒井会長にお願いします。

【会 長】 それでは、次第に従いまして議事を進めてまいりますので、よろしくお願いします。議題(1)の「第3次みよし市食育推進計画及びみよし市食育推進会議の概要について」事務局より説明をお願いします。

【事務局】 第3次みよし市食育推進計画及びみよし市食育推進会議の概要についてご説明させていただきます。

第3次みよし市食育推進計画についてです。

第3次みよし市食育推進計画は、第2次計画の取組実績と評価を踏まえるとともに、市民アンケートを基にした課題を改善していくため、5ヵ年の総合計画として今年度に新たに策定されました。

概要版の1ページをご覧ください。

昨年度、第3次食育推進計画策定のため実施したアンケート調査では、3132名の市民の方に回答をいただき、結果を整理したところ、

- 1、朝食の欠食者割合の増加
- 2、食事の栄養バランスに気をつけている人の減少

の2点が課題として見えてきました。

2ページをご覧ください。

この課題を改善するため、第3次計画では、基本理念を「食を通した、人づくり、健康づくり、環境づくり」とし、「人づくり」、「健康づくり」、「環境づくり」を3つの基本目標として、それぞれの基本目標及びこれに対応する基本施策を定めています。そして、その中で特に【バランスのとれた規則正しい食生活の実践】を重要取組として、取り組んでいくこととなりました。

また、7ページにあるとおり、基本目標の達成に向けて目標項目と目標値を定めております。

3ページをご覧ください。

3次計画では、先にご説明しました目標に対する取り組みが市民の日常生活の中で実践、継続できるよう、具体的取り組みに関する市民の行動指針を定めています。

4ページをご覧ください。

具体的な取り組みは、6段階のライフステージ別の目標として定めています。

そして、5・6ページではライフステージ別の取り組みを定めています。

目標の詳細については、冊子の43ページから68ページに掲載していますので、ご参照ください。

さて、食育は短期間で結果が出るものでも、その結果が明確に現れるものでもありません。だからこそ食育推進のための仕組みづくりとして、様々な関係者が連携、協力していくことが重要となります。

冊子74ページに抜粋してあります食育基本法第一条にもありますように食育は【現在及び将来にわたる健康で文化的な国民の生活と豊かで活力のある社会の実現に寄与することを目的とする】ためのものです。

平成17年に食育基本法が制定されて14年、世の中はめまぐるしい進化と発展を遂げています。しかし、世の中がどれだけ変わろうとも、子ども達が豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくためには、何よりも【食】が重要なことに変わりないのです。

食育推進会議は、学識経験者、各種団体代表、公募市民などが中心となる機関であり、行政の役割を果たすため、家庭、保育園・幼稚園・学校、地域などと連携して総合的に食育に関する取り組みを推進する目的で設置されております。

教育関係者であったり、生産者であったり、様々な機関が様々な立場で推進している食育活動を、各々を連携させ、総合的な取り組みとして推進していくためにも、食育推進会議は非常に重要なものです。

地道な活動ではありますが、みよし市における食育推進のため、健康で心豊かな暮らしの実現の為、食育推進会議委員並びに助言者の皆様には、今後ともご尽力いただきますようお願いいたします。

【会 長】 ただ今の説明に関し、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

【会 長】 特にないようですので、議題（２）の「みよし市の食育推進に関する取り組み状況について」事務局より説明をお願いします。

【事務局】 みよし市の食育推進に関する取り組み状況について、関係機関の皆様を実施状況の照会、聞き取りをして資料を作成しました。第３次計画に記載されている基本目標、基本施策ごとにまとめており、実施内容として、平成３０年度の実績と、令和元年度の計画、また今後の事業の方向性を記載しています。

【会 長】 ただ今の説明に関し、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

【会 長】 特にないようですので、次に議題（３）食育推進に関する周知・啓発活動について、事務局よりお願いします。

【事務局】 本日の資料の別紙２に令和元年度の周知・啓発活動の内容を掲載してあります。１点目が広報みよしでの「我が家de食育」の掲載内容です。それぞれの担当課で実施している食育の事業内容などを毎月１日号の広報で一覧のとおり記事を掲載します。２点目が「食育ホームページ」の更新計画です。令和元年度の１年間で市内の食育に関する活動を一覧のとおり６回追加更新します。また、裏面のとおり食育月間として６月１日号の広報で特集として記事を掲載しました。次のページからは「我が家de食育」に実際に掲載された記事となっています。

【会 長】 ただ今の説明に関し、ご質問やご意見がありましたらお願いします。
なければ、ここから食育推進に関する意見交換として委員の方、お一人ずつ順番にご自身の食育に関する活動や意見を述べていってもらおうと思います。最初に近藤委員からお願いします。

【前田委員】 J Aでは食育の一環として田植え、稲刈り体験、選果場の見学会等を

実施している。それから赤とんぼ米といった減農薬栽培への取組、選果場やグリーンセンターなどで地産地消を推進している。また市内の農業を守るため、農業所得の向上に力を注いでいる。

【小野田委員】 第3次食育推進計画の具体的な取り組みとしては記載がないが、農村生活アドバイザーとして、トウモロコシの収穫体験の実施や、軽トラ市・産業フェスタに参加することで地産地消の推進に取り組んでいる。また、私個人では愛知県の食育ボランティアにも登録しており、地元小学校でおこしもんづくりの講師を務める等、伝統料理の継承活動を行っている。

【岡本委員】 安心安全な食の提供の為、GAP認証を目指すようJAから言われるが、なかなか難しい。農家として食の安全は守っていきたいが、市内農家の高齢化は進んでおり、厳しい状況にある。

【雪江委員】 食生活健康推進委員会は保健センターを拠点に活動しており、親子向けや高齢者向け・男性向けの料理教室、パククッキング、すくすく教室。わんぱく教室などを行っている。しかし最近では部員数の減少・高齢化が進み、養成講座受講者も年々減っていることが課題である。

【原田委員】 商工会食品部では保健所から委託を受けて食品を扱う際の衛生講習を行っている。また食中毒防止対策の一環として、日本食品衛生協会の推奨している手洗いマスター制度を広めている。

【板倉委員】 小中学校としては授業時間には限りがあり、小学5年生以上が受ける家庭科の授業と給食が食育の2本柱となっている。しかし、栄養教諭のいる学校といない学校では食育への取り組み方に大きな差が出ている。そこで、市内全校に栄養教諭を置いてくれるよう、今お願いしているところ。大げさなものではないが、大人になり1人でお弁当を購入する機会があった時、栄養バランスを意識できる子に育つよう、食育を行っていききたい。

【浅井委員】 市内には6つの私立幼稚園があり、それぞれ独自の食育を行っている。私たちまこと第二幼稚園では園庭の片隅で野菜を育てたり、借りた農地での収穫体験をさせたりしている。また、あざぶの里で梅の収穫体験を行い、その梅でジュースを作ることも行っている。近年では、加工品しか知らない子、食に興味のない子が多くなっている気がする。食事作法も含めて、幼少期からの食育はとても重要だと思う。

【山中委員】 まこと第二幼稚園で浅井先生がおっしゃった食育を経験してきた子が今、小学三年生になった。自分で育てたものを口にする体験は非常に重要

だと、親として改めて思う。野菜を自分で育てるのは子どもにとってとてもいい経験になっている。子どもにも自分で育てたものや調理したものを食べることができるようになってほしい。

【深谷委員】 我が家は近くで両親が野菜を育てていて、野菜はたくさんもらえるのだが、年長さんの子は野菜嫌い。だが、園庭で育てている野菜には愛着があるらしく、よく話をしてくれる。育てた野菜を食べることで、野菜嫌いが治ってほしい。また小6の子が宿題で「我が家の献立」というのをやった際、無理なら提出しなくて良いという学校の対応に、この宿題ができない子がいることに驚いた。食育の大切さを改めて痛感した。

【野田委員】 生徒を見ていると朝食を取っていないと思われる子が多く見られる。しかし高校生ともなると、給食もないため、食育を行うのが難しい。何かアイデアがあったらいただきたい。1年生が現在「みよし市探求」という総合取り組みを行っているので、そこに食育を結び付けられないか考えている。

【小川委員】 愛知県は残念ながら野菜の摂取率全国ワースト1位。しかし大人になってから野菜嫌いを治すのはなかなか難しい。そこで大切なのはやはり幼少期の食育。私が考案したゴマすり体験セット、これで野菜を積極的に食べるようになった子はたくさんいる。そして、その子どもを通して親にも食育がつながっていく。来年度は食育推進大会が愛知県で開催される予定。子どもから親世代へとつながっていく食育を進めていってほしい。

【西堀委員】 食育は子どもにも重要なことではあるが、多世代に行っていくべきもの。特に高齢者への食育は重要。な高齢者向け料理教室などの取り組みは素晴らしいと思う。またいつ起こるか分からない災害に備えて、もっと非常食を普及させるべき。そもそも日本では基本である一汁三菜という食事の考え方は、海外ではめずらしい。もう少し視野を広げて食育に取り組むべきではないか。

【山本委員】 公募委員として、自分の家庭のことではあるが、やはり家庭での食育はとても大切だと思う。例えば三食きちんと作れなくても食べられなくても、だったらこうしようと思える工夫できる知識を持っていることが大事。家庭での食事が食育の基本になると思う。また、少し前に大学生の娘が、給食がまた食べたいと言っていた。給食は子どもの食育の基礎となるのだと改めて思った。

【足立助言者】 愛知県では食育推進活動の一環として、食育劇を推奨している。食育啓発劇を学校、イベント等で行う際、台本や衣装を無料で貸出しできる

ので、是非活用してほしい。また食育ボランティアも募集しているので、該当する方が身近にいたら、是非進めてほしい。

【木戸助言者】 保健所では食育協力店を募り、協力店にはステッカーを公布、情報発信に協力してもらっている。また食生活改善支援事業として、事業所の給食施設等への栄養士の派遣を行っている。

【近藤助言者】 小中学校での9年間というのは食に関する基礎基本となる時期。来た中学校では調査の結果、睡眠をしっかりとっている子は朝食もしっかり取っていることが分かった。やはり規則正しい生活と食育は結びついている。そして学校では食育に関しては給食が一番の生きた教材となる。みよし市産の食材を給食に使うなど、各々の取り組みが連携していくと良いと思う。

【関根助言者代理】 健康づくりの三本柱は「栄養」「運動」「睡眠」、中でも栄養は特に大切である。毎週月曜日に保健センターで行っている育児相談は、多いときは半日で60人くらいの方が相談にくるが、半数近くは食への相談。子どもが食事を食べないという相談も多いが、食事そのものだけでなく、食事のリズムも大事。みよし市保健センターとしては健康づくりや検診受診率のアップのためにマイレージ事業や、60歳以上を対象にいきいき元気度測定を行い、楽しく健康づくりをするための運動や食生活の支援活動をしている。

【前田主任主査】 県ではあいち食育いきいきプランを平成28年度から来年度までで策定しています。愛知県産の農畜産物を広める為の活動も行っています。食の安全を守るため「米トレーサビリティ法」や「食品表示法」などを広めるよう努めています。また、食育をより推進するため、食育ボランティアを募集していますので、周りに該当者がいれば、勧めていただきますようお願いいたします。来年度は食育推進大会が愛知県で開かれます。よろしく願います。

【会 長】 委員の皆さん、貴重な情報やご意見ありがとうございました。最後に小川先生、西堀先生、一言ずつ願います。

【小川委員】 調査をみて、それぞれの団体は良くやっていると思う。しかし、もっと食育を推進させていくためには、各々が連携していく必要がある。そのために、この食育推進会議があるのであり、事務局は、団体を繋ぐ働きをより積極的にしていくべきではないかと思う。

【西堀委員】 先程も申し上げたが、高齢化社会において、高齢者へ向けた食育をもっ

と行っていくべき。食育活動はもっと対象者を、視野を広げていくべきだと思う。

【会 長】 ありがとうございます。視野を広げ、食育について考えていく、非常に重要なことだと思います。また私も以前は市民病院勤務だったので、手洗いには気を配っていたはずなのに、最近疎かになっていたと改めて気づかせられました。いただきました情報ご意見等については、今後の食育推進の参考とさせていただきます。また、委員・助言者各位におかれましても、それぞれのお立場で、食育推進にご協力を賜りますよう、お願いを申し上げ、本日の議事を終了いたしたいと存じます。ありがとうございました。

【事務局】 以上でみよし市食育推進会議を終了いたします。

《 会議終了 》